

【Drogasi the Skald】

説明

解説

■神殿

嵐の神殿。小神。

■称号、職能

皇帝と舞踏と音楽の腕比べをした時に名乗った“スカルド”としてのオーランスの名。オーランスの別名の一つ。

■概略

ドロガーシは角笛や様々な単管楽器などなどを考え出し、また皇帝の息子の堅琴やデロラデラの裔の太鼓などの奏で方を学び伝え、いまだに舞われている様々な舞を創作した。

またドナnderの神話ではドロガーシはドナnderの子であり、嵐の時代に生まれたとされている。その中ではドロガーシは暗黒の時代に混沌に倒され、チャラーナ・アローイが癒そうとしても、その最中にも幾多の心無きものが噛み続けたために救うことは出来なかった。そこに現れたのがドナnderであり、ドナnderが楽を奏でると心無きものたちは踊りに加わり、そうしてドロガーシは癒された、とされている。

オーランスのカルトとしてはひどく特殊なカルトであり、その信者の数は絶対的に少ない。

組織

■相、カルト

冒険者オーランスの下位カルト。

ドナnderの下位カルト。

近親

■両親

オーランスの別名とするのではなく親はドナnderである神話もある（しかしヒョルト神話ではドナnderは母親とされ、ドナnderの神話では父親とされている）。

参考文献

- ・『Thunder Rebel』 p.216-217、223
- ・『Storm Tribe』 p.212-213